

## 9月定例教育委員会議事録

- 1 開催日 令和2年9月29日（火）
- 2 会場 大井川庁舎 2階 第3委員会室
- 3 開会 午後2時35分
- 4 出席委員 羽田明夫 教育長  
大石智之委員（職務代理者）  
奥川重子 委員  
山竹葉子 委員  
河江富男 委員
- 5 会議出席者 櫛田隆弘 教育委員会事務局長  
渡辺晃子 こども未来部長  
増田洋一 教育総務課長  
池田純也 学校教育課長  
鈴木孝之 学校給食課長  
見崎孝之 社会教育課長  
佐藤光夫 文化財課長  
石上睦晃 図書課長  
岩ヶ谷佳史 保育・幼稚園課長  
  
書記 片瀬能彰 教育総務課総務担当主幹
- 6 議事 別紙のとおり

羽田教育長	<p>【午後 2 時 35 分開会】</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>お忙しい中、9 月定例教育委員会に御出席いただき、ありがとうございます。開会に先立ちまして、市議会 9 月定例会での同意を得て、教育委員に任命されました、河江委員から一言御挨拶をいただきたいと思ひます。</p>
河江委員	<p>教育行政に少しでも貢献できるように、委員各位の御指導を仰ぎながら精一杯、務めていきたいと思ひます</p>
羽田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、9 月の定例教育委員会を始めさせていただきます。</p> <p>本日の議事録署名人は「大石委員」と「山竹委員」となりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議第 11 号 令和 2 年度焼津市教育委員会事業評価報告書について、説明をお願いします。</p>
増田 教育総務課長	<p>(説明概要)</p> <p>8 月に焼津市教育委員会事業評価委員会を 2 回開催し、委員による協議を行い報告書(案)としてまとめました。教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、総合計画の施策マネジメントシートを利用して自己点検・評価を行い、報告書を作成しましたが、子ども・子育て支援の充実については、教育委員会の所管である公立幼稚園に関する事務事業マネジメントシートを利用しました。</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長	<p>(説明概要)</p> <p>「公立幼稚園保育事業」についてご説明いたします。</p> <p>事業の内容は、公立幼稚園に園児を受け入れ、幼稚園教育を実施するとしております。昨年度の活動実績は、事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標の「手段」の主な活動の令和元年度実績のとおりとなります。活動指標は、公立幼稚園平均保育日数としており、元年度実績は 186 日でした。昨年度、公立幼稚園は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月 3 日から 3 月 19 日まで臨時休園したことにより、例年よりも保育日数が少なくなりました。学校教育法施行規則及び幼稚園教育要領では、教育週数は特別の事情のある場合を除き、39 週を下ってはならないとされておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休園措置については「特別の事情」に該当するため、39 週に届いておりませんが</p>

教育課程には問題ありません。対象指標は、公立幼稚園児数としており、31年4月1日時点の園児数は303人でした。成果指標は、子どもの成長が見られた割合ですが、こちらの成果指標に関しては山竹委員から事前質問をいただいております、その回答でご説明させていただきたいと思っております。上位施策の成果指標は、第6次焼津市総合計画の「施策1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となります。評価の部ですが、関係施設と連携し子育てに対する共通理解を得ることや、職員研修事業に力を入れ職員の資質を高めること、また、支援を必要とする子が増えてきているため、職員配置についての配慮も求められています。今後の方向性のうち課題は、「入園児の面接を丁寧に行うとともに、子どもの特性や支援が必要な子どもの把握を早期に行う」、「多くの教諭と協議し、子どもの成長過程を極めていくため適切な人員配置を検討する」などが挙がっております。

次に、「幼稚園維持管理事業」についてご説明いたします。

事業の内容は、公立7園の維持管理を行うこととしており、消耗品・光熱水費・役務・委託等の事業を実施するとしております。昨年度の活動実績は、事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標の「手段」の主な活動の元年度実績のとおり、建物設備や器具修繕、備品購入などを行いました。活動指標は、修繕等を実施した幼稚園数としており、元年度実績は7園すべて実施しております。対象指標は、公立幼稚園数と園児数としております。成果指標は、幼稚園の建物設備と器具の修繕件数と備品購入件数としております。安全で適切な幼稚園生活を送る上で、必要な建物設備や器具の修繕が行えました。また、幼児教育に必要な備品も購入することが出来ました。上位施策の成果指標は、第6次焼津市総合計画の「施策1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となります。評価の部ですが、公立7園の維持管理のため効率的に修繕等を行っており、今後も必要な修繕及び備品購入を行う予定です。今後の方向性のうちの課題は、「効果的な事業費の使い方」を挙げております。

次に、「保育所・幼稚園における指導者の指導力向上支援事業」についてご説明いたします。

事業内容は、幼稚園・保育所、公立・私立の枠を越えて設置した「乳幼児教育推進会議」を中心として実施される研修事業等において、幼稚園教諭及び保育士の指導力を向上させることを目的としています。昨年度の活動実績は、事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標の「手段」の①主な活動の元年度実績のとおりです。活動指標は、各研修会の回数と各園への訪問指導の回数としております。対象指標は、公立幼稚園と保育所の職員数としております。成果指標は、指導意識や指導スキルが向上したと答える職員の割合としており、これは研修会でのアンケート結果によるものです。目標値の80%に対し、実績値95%で目標を達成しております。

す。上位施策の成果指標は、両方とも、第6次焼津市総合計画の「施策1：子ども・子育て支援の充実」の成果指標となります。評価の部ですが、幼稚園・保育所職員に対して行った研修等は、職員の資質向上において有効であり、特に「保育の基礎から学ぶ」ことを狙った「保育者資質向上研修会」は多くの保育者が自主的に参加し自身のスキルアップに繋がりました。公立・私立園が共通の認識のもと研修を推進することで、より大きな成果が得られることとなりました。今後の方向性のうちの課題は、「研修内容を充実させるために、より専門性の高い講師の招聘」を挙げております。

次に、委員の皆様から事前質問をいただいておりますので、回答いたします。

<大石委員>

○評価の部「有効性評価」「幼稚園教育の重要性をもっと保護者に啓発することが必要。」とありますが、どの成果実績に対して、なぜそのように感じられたのか、また、具体的に重要性を伝えるためにはどのような手段が考えられるか教えてください。

<回答>

成果指標に対しては、有効性評価の「職員の資質向上が望まれる」ことが感じられました。幼稚園としては、子どもの成長や小学校との円滑な接続を図るためには、職員の資質向上と同時に保護者の協力が必要と考えています。全国的に行われた、園での経験と幼児の成長に関する調査では、保護者が園からの情報や園に関わる機会が多いほど、子どもの成長に対する保護者の実感が大きい、という結果も出ております。幼稚園教諭の実感として、幼稚園での教育や遊びが、子どもの成長に大きくかかわっていることを保護者に伝えることで、幼稚園教育の重要性がご理解いただけるものと思っています。小学校学習指導要領に「幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること」と、幼小の円滑な接続を図る上で、幼児教育の重要性が述べられております。園は集団保育、家庭は個というそれぞれ子育てのフィールドが異なる両者が、幼児教育の重要性を十分に理解し、共通意識をもって子育てをしていくことが大事だと考えます。園における遊びの価値や子どもの育ちなど、幼児教育の重要性を具体的に伝えるための手段につきましては、園児の登降園時に保護者と直接顔を合わせたときにお伝えすることができます。これについては日常的に園では実施しております。また、保護者懇談会などの機会をとらえ、お伝えすることもできます。さらに、言葉で伝えるだけでなく、可視化（見える化）して伝えることも大変有効だと感じています。

園から紙面で毎月発行している「園だより」を始め、不定期に発行する「園

長だより」を通して、あるいは、ドキュメンテーション（園での活動の写真を中心に、子どもの会話や行動、育った力などを保育者の解説を加えてまとめ、園の玄関などに掲示するもの）などを作成し、保護者に見ていただくことが考えられます。ドキュメンテーションに関しては各園で取り組みを始めたところです。

<奥川委員>

○就学前の教育の大切さを重んじてきた焼津市教育委員会の施策が浸透し、資質向上したとの回答が目標値を大きく上回っていることは、担当されている方々の努力の賜物と感謝したい。今後の方向性に記載がある「保育者のニーズに合ったテーマ」とは、具体的にはどのような内容を指しているのか。

<回答>

乳幼児教育推進会議を中心とした各研修終了時に、参加された保育者にアンケート調査を実施し、その回答から保育者のニーズの把握をしております。昨年度の調査結果・ニーズを基に、本年度計画・実施している主なテーマは、「外国ルーツの子どもに対する支援のあり方について」や「乳幼児期におけるアタッチメントの重要性について」、「配慮を要する子どもへの対応について」、そして「保育の質向上のための園内研修や園長研修のあり方について」では、子どもを理解するための研修に、県が作成した「保育の質向上リフレクションシート」の活用や、園における同僚性を高めるための研修を実施しております。また、保育の実践に活かせるスキルアップとして「わらべうたであそぼう」の研修も計画しております。

<山竹委員>

○事務事業マネジメントシートだけで、施策マネジメントシートがありませんでした。

<回答>

「子ども・子育て支援の充実」の施策マネジメントシートにつきましては、市長部局の業務が多く含まれておりますので、教育委員会部局である公立幼稚園に関する部分を抜き出した「事務事業マネジメントシート」のみを資料とさせていただきます。

○昨昨年は、幼稚園施設等整備事業がありましたが、これは今回の報告では幼稚園維持管理事業に含まれている、ということですか。

<回答>

平成30年度は、幼稚園の整備に関する工事等の事業があったので「幼稚園施設等整備事業」のマネジメントシートを資料として提出しました

が、令和元年度は整備に関する工事等の事業が無かったため今年度は資料提出はしませんでした。なお、施設の設備修繕等の事業は「幼稚園維持管理事業」に含まれております。

○焼津市の公立保育所については、幼稚園における公立幼稚園保育事業・幼稚園維持管理事業のような部分は、どこで対応しているのでしょうか。

<回答>

公立保育所については「公立保育園事業」と「公立保育園維持管理事業」のマネジメントシートがあり、保育・幼稚園課で対応しております。

○「子どもの成長がみられた割合」が大きく下がっています。この割合の低下の理由は何でしょうか。

<回答>

平成30年度までは、年度末に行う保護者懇談会で、保護者へ任意のアンケートを実施し、その結果を実績値としていました。小中学校や幼稚園は、学校教育法及び同施行規則により、毎年、学校運営の状況について評価を行い、その結果を公表することとされております。これが「学校評価」で、これには保護者アンケートだけでなく教諭の自己評価結果も反映されます。法や規則に基づいた調査であり、また、保護者と教諭の意見も反映されることから、園児の状況についてもより正確に把握することができると考え、令和元年度から「学校評価」の結果を成果指標とすることとしました。本来なら、平成30年度分も「学校評価」の結果に修正しなければなりませんでした。30年度の方はそのまま修正せずに提出したことにより、大きく下がった数値になったことが理由であります。

○本年度からの園数について、七園、となっておりますが、2年度計画では6.0となっております。これは誤りではなく、文書作成上の決まりに従うようになるのでしょうか。

<回答>

今年の4月から東益津幼稚園が休園しておりますが、施設の数はそのままとなりますので、7園となります。ただし、建物修繕や備品購入などの予算は計上されていないので、6園となります。

○指導意識や指導スキルが向上したと答える職員の割合が、とても大きくアップしていることは、とても素晴らしいことだと思われました。研修等のプログラムの成果なのでしょうか。

<回答>

成果指標は、保育者に対し年度末に実施する乳幼児教育に関する実態調

	<p>査の結果となりますが、その中で保育者からのスキル向上となった理由といたしまして、まず1点目は、「子どもをどう理解するか」「夢中になって遊ぶためにどんな環境を設定するか」「同僚性を高め、園のチーム力を向上させるにはどうしたらよいか」など、保育者の専門性に関するテーマに基づき、公開保育を含めた園内・園外の研修を通して、保育者の指導意識や指導スキルが高まることとなりました。2点目は、園内における上司、先輩保育者からの指導助言が成果に結びついたこと、3点目は、同僚との話や相談から学ぶものがあつたことが挙げられています。保育者にとって研修は、自身の資質向上に大変有効であり、保育の質の向上のために、研修の場や内容、その方法など、乳幼児教育推進会議を中心とした各事業を通して積極的に提案することや、各園で工夫した取り組みをしている成果の表れだと考えています。</p> <p>○保育所・幼稚園における指導者の指導力向上支援事業の事務事業マネジメントシート 乳幼児教育の重要性が「解かれた」改訂保育・・・とあるが、「説かれた」ではないでしょうか。</p> <p>&lt;回答&gt;</p> <p>ご指摘のとおり説明の「説」の「説かれた」が正しいです。</p>
羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p>
山竹委員	<p>職員の皆さんの意識が向上したとあるが、「子どもの成長がみられた割合」が大きく下がっているのが、なんでかなと思いましたが、評価の方法が変わったためということでしょうか。</p>
岩ヶ谷保育・幼稚園課長 羽田教育長	<p>はい</p> <p>その他、御意見・御質問、ありますか。よろしいでしょうか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p>
池田 学校教育課長	<p>(説明概要)</p> <p>施策名「学校教育の充実」についてご説明いたします。成果指標をご覧ください。成果指標は2つあり、Aが知「授業内容を理解する小中学生の割合」 Bが徳(心)「自己肯定感を持つ小中学生の割合」としております。実績値は、Aについては、平成30年度の実績値が83%で、達成率はちょうど100%、令和元年度の実績値は83.7%で達成率は100.6%でありました。また、Bについては、平成30年度の実績値が76.6%で達成率が99.5%</p>

でしたが、令和元年度の実績値が78.3%で、達成率が101.7%であり、目標値を超えることができています。この成果指標Aについては、昨年度、静岡県教育振興基本計画「有徳の人づくりアクションプラン」と同じ調査項目を使用しており、本市のみの経年比較だけでなく、県の数値との比較を行うことができます。令和元年度における県との比較では、Aについては、県が79.9%、であるため、焼津市が3.8ポイント上回っている結果が得られました。「施策の振り返り」として、6点あげました。1つ目、年度当初に「授業改善の重点」を設定し、学校訪問時に指導助言を行い、各校が真摯に校内研修に取り組んだこと。2つ目、問題行動や不登校、いじめなどの様々な問題や発達障害児や外国人児童生徒などに対応する支援員の配置や支援体制の充実に取り組んだこと。3つ目、児童生徒が主体的に体を動かしながら運動に親しみ、運動好きになるよう取組を行事や授業の中で積極的に進めたこと。4つ目、教育センター事業により、若手教員を対象とした学校訪問による指導や放課後に学校の教室を利用した学習支援を行い、教員の指導力と子どもの学力の向上を図ったこと。5つ目、小中学校猛暑災害対策事業として、教室に空調を整備したことや机椅子の更新、教室内のロッカーの改修、校舎の改装改修を行い、学習環境を整えたこと。6つ目、安全で美味しく、栄養バランスの優れた学校給食の提供により、子どもの健康の一端を担ったこと。などによる成果であるとしてとらえております。「施策の課題」については、5点あげております。

1つ目、児童生徒の学びの実感につながる教職員の授業改善をさらに進める必要があること。そして、本年度中に児童生徒一人一台整備されるPC端末を有効活用した授業改善をすすめること。2つ目、不登校児童生徒に加え、支援を必要とする家庭を支えるため、本年度学校教育課内に設置した「家庭子ども支援室」事業を拡充し、支援体制を充実させていくこと。3つ目、増加している若手教員への指導のさらなる充実や放課後学習支援の対象学校数の増加を目指し、「教育センター事業」を充実させていくこと。4つ目、引き続き、学校トイレの洋式化をはじめとする改修等をさらに進め、学習環境の整備を図ること、合わせて給食センターの空調機器の改修を行い、調理に適した環境づくりを行うこと。5つ目、新型コロナウイルス対策として、文科省からの「学校における新しい生活様式」に基づき、感染防止の指導の徹底を図っていくことと考えております。

「学校教育の充実」については以上です。

次に、委員の皆様から事前質問をいただいておりますので、回答いたします。

<大石委員>

○施策の特性・状況変化・住民意見等、ここに、住民（事業所、地域、団体）、行政の役割分担が記載されています。焼津市自治基本条例では、「住



民は、次世代への責任を認識し、まちづくりの当事者として、自らの生活や地域社会のあり方を考え行動します。」と記されています。マネジメントシートには、行政側からみた、教育分野における住民の役割が整理されていると思います。役割を理解してくれている住民が多数いることで、今が成り立っていることも事実だと思いますが、残念ながら、全てに、その考え方が浸透し切れていないのも事実です。特に、“子どもの発達段階に応じて生活・学習習慣を身につけさせる役割”を、全ての家庭で、自らの責任として担ってくれるようになれば、学校教育の質をより高めることができます。この役割を理解していない住民を減らしていくために、決して押し付けにはならぬよう、行政・学校側からのアクションも、地道に続けていくことが必要なのだと思います。今後コミュニティスクールが導入されていけば、浸透しやすくなるとは思いますが、今現在で何か工夫されていることがあれば教えてください。

<回答>

教育委員会では、家庭教育リーフレット「やいづっ子の未来をはぐくむ家庭教育～子どもの力を伸ばすために～」を作成し、新1年生の保護者に配布し、家庭教育について啓発しております。昨年度、これまでのリーフレットを見直し、改訂を行い、「深めよう！親子のコミュニケーション」「身に付けよう！生活習慣やルール」「取り組もう！読書や家庭学習」「育もう！自立心・夢・希望」「つなげよう！人や地域とのかかわり」という項目を立てて、みんなで共育していくことの大切さを伝えています。

新1年生の入学説明会等の機会を活用し、保護者に浸透できるよう、実際の学校生活と絡めながら説明し、家庭教育の大切さを訴えているところです。

<奥川委員>

○焼津市の猛暑対策事業、他市に先駆けて多くの支援員の配置、家庭子ども支援室の設置等々成果指標には表れにくい行政の取り組みが、学校教育の充実に大きく貢献していると考えます。市の事業評価には記載できないのかもしれないが、焼津市が目いっぱい努力の現状から今後の取り組みは、県や国への強力な依頼をすること、「正規の教職員の増員」である。今までも十分取り組まれていることは、承知しているが、市独自では限度があると思うので。問題行動・不登校への対応は、焼津市だけでなく全国的な課題であるので、正規の職員の増員・定数の改善は急務であると考えるので、近隣の市町と協力して強力に推し進めてほしい事項である。

<回答>

「正規の教職員の増員」に関しましては、県に対して、静岡県市町教育委員会連絡協議会や静岡県校長会から「教員の定数増」や「1学級当たり

	<p>の児童生徒数の見直し」、「スクールカウンセラーの勤務時間の拡充」等について要望しております。また、国に対しましては、県を通じて要望しており、今後も引き続き働きかけてまいります。</p> <p>&lt;山竹委員&gt;</p> <p>○ソーシャルネットワークサービスの利用についてのコメントがありますが、保護者の意識改革だけではなく、青少年や子どもたちに対しても、ソーシャルネットワークとの付き合い方に関する教育がとても必要だと感じています。</p> <p>&lt;回答&gt;</p> <p>教育委員会としても、ソーシャルネットワークサービスの利用について児童生徒に対して教育していくことは、必要不可欠なことであると考えております。学校教育課では、NPO 法人イーランチに委託して各学校で、子どもや保護者を対象に啓発講座を実施しています。また、各学校では独自に民間企業（LINE、ドコモ等）に依頼して子どもたちに啓発講座を実施するなどして子どもへの教育を実施しています。今後、GIGA スクール構想により、子どもたちが、これまで以上にインターネット等を活用していく状況にあるため、今まで以上に「情報モラル」に関する教育が必要となります。学校教育課では、今後も子どもたちに適した情報モラル教育を実施してまいります。</p>
羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p>
見崎 社会教育課長	<p>(説明概要)</p> <p>それでは、生涯学習の推進について、ご説明させていただきます。</p> <p>この施策の目的は、「市民が、自ら学び、その学んだ知識を社会に活かすことができる」ことと、しています。施策の方針は、誰でもが学べる学習機会を提供するとともに、地域と密着した実践活動を推進します。併せて高齢者の生きがいづくりや、居場所づくりに寄与します。天文科学館や図書館において、誰もが学習できる環境づくりに取り組みます。学習拠点として生涯学習施設の整備を推進します。青少年の健やかな成長・発達を促すため、学校・家庭・地域の連携を強化し、地域全体の教育力の向上を促進します。この方針に基づく基本事業としては、「公民館講座の充実」、「生涯学習施設の充実」、「地域での教育力の向上」、「天文科学館・図書館の充実」としています。それでは、令和元年度の取り組み状況について、ご説明させていただきますので、「施策の目標達成度」であります。こ</p>

の施策の成果指標は、市内9公民館の「各種講座の参加者数（公民館利用者数）」と、「天文科学館・図書館の利用者数」の2つであります。まず、「各種講座の参加者数」については、達成率 85.2%で目標達成には至りませんでした。リニューアル2年目の和田公民館の利用者増などにより、上半期は前年を上回る利用者数となっていました。昨年10月の台風19号による大村公民館祭りの中止や、新型コロナウイルス対応により、本年3月の利用者数が大幅に減少したことが主な要因であります。次の「天文科学館・図書館の利用者数」は、達成率 89.6%で、こちらも目標達成には至りませんでした。天文科学館ではプラネタリウム特別番組や特別展に多くの観覧者があり、結果として前年を上回る利用者数となっておりますが、図書館での設備工事、台風による臨時休館や、両館における新型コロナウイルス対応などにより、こちらも3月の利用者数が大きく減少したことが主な要因であります。続きまして、施策の振り返り（令和元年度の取り組み状況）についてです。公民館では、子どもから高齢者までを対象とした多数の講座や各種学級を開催し、誰でも学べる学習機会を提供するとともに、地域コミュニティ事業への協力、支援に取り組み、地域コミュニティの振興が図られました。次の天文科学館は、交流推進部所管施設となりますので、一つ飛ばさせていただき、図書館では、令和元年6月の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」の施行に関連し、国立国会図書館と音訳図書に関する「覚書」を結ぶ等、アシストサービスの充実に取り組み、図書館利用に支障のある方の読書機会の拡大が図られました。各施設では、経年劣化した施設や設備の改修工事、修繕を行い、適切な施設運営に努めました。青少年教育相談センターでは、学校や地域と連携、協力して青少年の非行を未然防止するための声掛け運動や街頭補導などを実施し、地域での教育力の向上が図られました。次に、施策の課題としまして、まず、新型コロナウイルス対策として、生涯学習施設の運営や各種事業においては、新しい生活様式の実践など新型コロナウイルス対策の取り組みを踏まえた、事業実施方法の見直しが必要であります。次に、公民館事業では、公民館主催事業やコミュニティ事業においては、新しい生活様式を踏まえた中で、参加者の輪を広げ、地域の連帯感を高めるとともに、身に付けた知識を地域やまちづくりに繋げるような学びの循環をつくっていく必要があります。また、社会の変化に対応した住民の使いやすい施設となるよう、公民館のあり方を検討する必要があります。図書館では、図書館サービスの充実やICT化の導入等については、社会状況の変化や市民ニーズを捉えて、将来に向けたビジョンを描き、検討していくことが必要であります。引き続き、学校や地域、関係機関と連携・協力し、声掛け運動や街頭補導などの青少年健全育成事業に取り組み、地域の教育力向上を図っていく必要があります。以上で生涯学習の推進についての説明

を終わります。

次に、委員の皆様から事前質問をいただいておりますので、回答いたします。

<大石委員>

○令和元年度でも新型コロナウイルスの影響を受けておりますが、令和2年度は更にその影響は大きく反映されてきます。社会教育分野や文化会館関係等、施策によっては、マネジメントシートの目標数値が明らかに実現不可能となっているものもあるのではないかと思います。マネジメントシートの実効性を高めるためには「新しい生活様式」を踏まえた目標設定が必要なのではないかと思います。目標数値の修正は可能なのでしょうか。

<回答>

施策マネジメントシートは、第6次焼津市総合計画の進行管理を行っている「行政評価システム」であります。目標数値の修正について、第6次焼津市総合計画の進行管理を所管している担当課へ確認したところ、市総合計画は、4年ごと（計画期間8年間）に見直しを行うこととしているため、4年目となる来年度に成果指標や目標値等を含めた見直しを行っていく。また、原則として見直し時以外は修正することはできないと回答がありました。

<奥川委員>

○施策の課題「公民館のあり方を検討する必要がある」の内容は、公民館運営審議会とは別に、検討会を立ち上げると読み替えてもよろしいのか。図書館経営では様々な取り組みをされていることの報告を受けている。感謝申し上げる。施策の振り返りにある図書館利用に支障のある方の読書機会の拡大について、一人でも一回でも利用できれば価値ある取り組みであったと思うが、利用実態は把握できるのか。

<回答>

近年、人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に伴い、より多様化した住民ニーズの対応や地域福祉や防災、まちづくりなどといった地域課題の解決を推進していくため、県内では公民館からコミュニティセンター等に転用している市が増えてきています。その理由として、社会教育法に基づく公民館事業の枠を越えた活動やまちづくり、福祉などの他の行政分野と一体的に取り組むことで、地域行政サービスの拠点等の更なる行政サービスの充実を図るためと聞いております。本市でも、公民館がこれまでの機能だけでなく、地域のまちづくりに寄与し、住民がより使いやすい施設となるよう、庁内で「公民館のあり方」について検討を進めているところであります。次に、図書館の利用に支障がある方のためのサービスであるアシストサービスにおける令和元年度の利用件数は、デイジー図書（アク

	<p>セシブルな情報システムを利用した図書・デジタル録音図書の国際標準の規格)等の録音図書については、延べ123人の方に434点の貸出を行いました。また、図書資料の郵送については、延べ3人の方に29点の貸出を行いました。今後もアシストサービスの内容の充実を図ると共に、12月の障害者月間などの機会をとらえ、利用促進を図ってまいります。</p> <p>&lt;山竹委員&gt;</p> <p>○生涯学習の推進の施策マネジメントシートに「です・ます」で表記されている部分があります。また、「平成33年度」という記載になっているところがあります。表になっているところは(令和)元年度・2年度などの表記となっていますが、このような文章中では、当初の計画時の表記のまま記載する、というのが通例なのでしょうか。</p> <p>&lt;回答&gt;</p> <p>文体を「である調」及び「令和3年度」に修正いたします。</p>
羽田教育長	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。</p>
大石委員	<p>目標数値の修正について、御回答ありがとうございます。新型コロナという状況であっても、原則は原則ということですが、せっかくのマネジメントシートであるので、現実的でないと絵に描いた餅になってしまう。ぜひ、特別な事情があるときには、柔軟な対応をお願いしたい。</p>
羽田教育長	<p>その他、御意見・御質問、ありますか。</p>
奥川委員	<p>丁寧な回答ありがとうございます。コミュニティセンターについてよく聞くんですが、こういう風になっているんだとわかりました。ありがとうございます。それと図書館の利用について、このように幅を広げて誰もが利用できる努力をされていることに頭が下がりました。</p>
羽田教育長	<p>その他、御意見・御質問、ありますか。よろしいでしょうか。それでは、次の施策の説明をお願いします。</p>
佐藤 文化財課長	<p>(説明概要)</p> <p>「芸術文化と歴史伝統のまちづくり」について説明させていただきます。</p> <p>最初に、「成果指標」となる目標値の設定について説明します。文化財に関する分野の成果指標は「文化財関連施設の入館者数」となります。該</p>

	<p>当する施設は、歴史民俗資料館と 焼津小泉八雲記念館 及び、大井川資料保管庫です。利用者数を、平成 29 年度 27,900 人から、目標年度となる令和 3 年度までに 5 %を増加するとしました。令和 3 年度の目標値は 29,000 人となります。お、基準となる数値は、対象施設の、平成 26 年度から 28 年度という過去 3 年間の実績から平均値を算出しました。続いて、「目標達成」の状況について説明します。令和元年度の目標値 28,500 人に対して、実績値は 31,408 人、達成率は 110.2%となり、目標を達成できました。歴史民俗資料館、小泉八雲記念館ともに人気のテーマの企画展を開催したことが、入館者数を伸ばした要因と考えます。歴史民俗資料館では 2 月から 5 月「なつかしの焼津 昭和・暮らし・道具」展で、7,545 人の入館者がありました。小泉八雲記念館では 4 月から 7 月「小泉八雲と日本の文豪」人気ブラウザゲーム「文豪とアルケミスト」のキャラクターパネル展で、5,746 人の入館者がありました。次に、文化財に関する「実施事業」について説明します。まず、歴史民俗資料館 及び 焼津小泉八雲記念館の運営をとおして、伝統文化の紹介と 学習の機会を提供しました。次に、文化財など、歴史的地域資源を活用する事業として、「山の軸」では、重要伝統的建造物群保存地区である『花沢の里』の 歴史的建造物「法華寺本堂」の修理と、ビジターセンター整備工事に着手したほか、花沢城の案内看板設置など整備しました。「海の軸」では、浜通りにある歴史的建造物の整備や、浜通りで行われた「夏のあかり展」に参加しました。その他、「藤守の田遊び」や「焼津神社獅子木遣り」の保存会など、伝統文化を継承する活動への支援に取り組みました。次に、「文化財の保護と活用」に関する「施策の課題」についてです。この項目の 3 点目の内容にあるように、文化財が地域資源として認識されてきているため、さらなる活用を進めることが必要あると考えております。</p> <p>以上、「文化財の保護と活用」に関する事業報告となります。</p>
羽田教育長	<p>説明が終わりました。 御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>以上で全ての施策の説明が終わりました。</p> <p>それでは、お諮りします。</p> <p>議第 11 号 令和 2 年度焼津市教育委員会事業評価報告書について、承認することとしてよろしいでしょうか。</p>
全委員 羽田教育長	<p>異議なし</p> <p>ありがとうございました。それでは承認といたします。</p> <p>次に、報告事項に移ります。</p> <p>報告事項の 1 番、令和 2 年度 9 月市議会定例会一般質問について、説明</p>

<p>櫛田事務局長</p>	<p>をお願いします。</p> <p>(説明概要)</p> <p>令和2年度9月市議会定例会一般質問について教育委員会に関する質問について、7人の議員からありました。P1</p> <p>○秋山議員</p> <p>「新型コロナウイルス感染症対応事業の中間検証と今後について伺う」職員体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員・教職員の時間外勤務の状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒45時間以上の時間外勤務をした教職員の割合は、昨年度と比べ、休校措置をとった4、5月は40%の減、学校再開後の6、7月は10%の増であった。</li> </ul> </li> <li>・職員・教職員の応援体制 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒休校時に実施した児童生徒の居場所提供に市の特別支援教育支援員や個別支援員があたり、国、県より、スクール・サポート・スタッフや学習支援員、非常勤講師の追加配置もあった。また、保護者や地域の方が消毒の手伝いに来てくださっている学校もある。</li> </ul> </li> <li>・GIGAスクール構想に備えた教職員支援の方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒大学の先生をアドバイザーとして招き、専門的な助言をいただきながら研究・研修を進めている。</li> </ul> </li> <li>・健康管理・メンタルヘルスケアへの配慮 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒管理職による日頃の勤務の観察、人事評価面談等での不安や悩み事の聞き取り、カウンセリングやストレスチェックを実施している。</li> </ul> </li> </ul> <p>○村松議員</p> <p>「アフター・コロナの視界が早期に晴れそうもない現況の中、第6次総合計画実現のための今後の市政運営について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てや教育施策について早急に推進する取組について伺う <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒教育環境整備については、第2期学び舎にここ元気計画に基づき、進めてきており、今後、第3期学び舎にここ元気計画を策定する中で、残りのトイレの洋式化等について、計画的に教育環境整備に取り組んでいく。また、GIGAスクール構想に基づいた児童生徒1人1台端末の整備を進めている。1人1台パソコンを活用することで「情報活用能力」の向上、「学習の個別最適化」や「授業の効率化」を図っていく。</li> </ul> </li> </ul> <p>石原議員</p> <p>「今年度から動き出す焼津市のコミュニティ・スクールについて」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの背景にあるのは何でしょうか</li> </ul>
---------------	--

⇒近年、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化し、地域と学校が一体となって子供たちの成長を支えていくことが必要となっている。

・運営協議会委員選出の構成メンバーについて伺います

⇒学校評議員、自治会役員、PTA 役員、公民館長、学識経験者などが考えられる。

・CS ディレクターと学校協働本部推進員の役割を伺います

⇒CS ディレクターは、学校運営協議会に関わる業務を、地域学校協働活動推進員は、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割を担う。

・近隣自治体の先駆事例があれば教えてください

⇒静岡市では、平成 25 年度より清水江尻小での取組をスタートし、現在は、6 校で実践している。

・2021 年に先ず東益津中学校区をモデル地区として選んでいます、理由を伺います

⇒東益津中学校区は、以前、文部科学省からの指定事業である学校支援地域本部事業を受けて実践した実績があり、他地区の参考になるため。

・市内で発足するコミュニティ・スクールからどのような将来イメージを持たれていますか

⇒地域住民から指導された子どもたちが、将来、大人になりその地域で、今度は自分たちが子どもたちを育てていく好循環が築かれていくコミュニティ・スクールをイメージしている。

・学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の問題解決につながります。と書かれていますが、豊田第 8 自治会は中学校区が 3 つも存在します。地域の自治会長からは、子どもたちが参加する地域のお祭りや子供会など分散しているという話も出ていますが、市はどのようにお考えでしょうか

⇒自治会と中学校区についてであります、各自治会の皆様には、地域の子どもたちを地域で育てるという思いで、子どもたちの育成に御協力いただくよう考えております。

○須崎議員

「コミュニティ・スクールについて」

学校運営協議会について

・東益津中学校区から段階的に導入する目的を伺う

⇒地域との連携があり、スムーズに導入できると考えられるため。

・中学校区に複数の学校運営協議会を設置する場合も考えられるとあるがどのような場合か伺う

⇒複数の小学校から 1 つの中学校に進学する学校や、1 つの小学校から



2つの中学校へ進学する学校がある場合などが考えられる  
地域との連携について

- ・自治会とはどのように係るか伺う  
⇒自治会の役員に、学校運営協議会のメンバーとして地域住民の代表となつていただくことが考えられる。
- ・現在活動中の学校協力員・見まもり隊との関りを伺う  
⇒現在のそれぞれの地区の活動を尊重しながら、地域学校協働本部の一員として引き続き活動していただければありがたい。

グラウンドデザインについて

- ・目標設定の指針設定はあるか伺う  
⇒学習指導要領や焼津市教育大綱を基に目標等設定する。
- ・目標に対する実績評価はどのように行うか伺う  
⇒全国学力・学習状況調査の結果や、アンケートを基に自己評価し、それらについて、学校運営協議会で御協議いただき、次年度の教育活動に生かしていく。

○河合議員

「新型コロナ対策による学校休業の影響と今後の対応」

学校の再開後について

- ・再開後、長い休業の影響はあったか。不登校傾向の児童・生徒は例年に比べてどうか  
⇒臨時休校期間における家庭訪問等での支援や段階的な学校の再開により、例年に比べて欠席者が少ないスタートとなった。
- ・新型コロナ感染症への心配があつて登校を控えさせる家庭はあるか。また、その対応は  
⇒同居家族の体調がすぐれない場合などに登校を控えさせることがあり、この場合、校長の判断で出席停止とするケースがある。
- ・呼吸器疾患のある教員などへの配慮はあったのか  
⇒休校中は在宅勤務をしたが、現在は通常勤務である。
- ・学校再開支援事業として各学校で整備する備品等の準備状況を伺う。  
⇒全校にサーモグラフィカメラの導入を検討している。

今後の対応について

- ・授業の未履修分の補いをどうするのか  
⇒夏季及び冬季休業の短縮や行事の見直しにより、未履修は生じない。
- ・中学部活動の現状と今後の見通しはどうか  
⇒感染症予防対策を講じながら通常どおり活動している。
- ・今年度の学校諸行事、また夏以降に延期した学校行事の実施の有無をどのように判断するのか

羽田教育長	<p>⇒行事の内容や感染状況に応じて実施の有無や方法を判断する。</p> <p>・今後再び休校になる場合の規準はどのように想定されているか。あわせて、感染者発生の場合や、濃厚接触者となる児童・生徒の存在が明らかになった場合の対応を伺う</p> <p>⇒保健所の指導に応じ、市策定のマニュアルを基に、休校の決定を行う。また、感染者については医師の許可が出るまで出席停止、濃厚接触者は14日間の出席停止となる。</p> <p>○川島議員</p> <p>「学校施設における熱中症対策の強化」</p> <p>体育館内の温度管理 エアコンの導入について</p> <p>⇒体育館の温度管理について、熱中症計や冷水機を設置済みで適切に対応している。エアコンの設置について、体育館は、体育の授業だけでなく、行事、部活動などで使用し、また、避難所にもなるので、重要な施設整備の一つであると認識している。</p> <p>○深田議員</p> <p>「コロナ禍においても子どもを核としたまちづくりのために」</p> <p>少人数学級</p> <p>⇒県には、静岡県市町教育委員会連絡協議会や県の校長会から、教員の定数増について要望している。今後も引き続き要望していきたい。</p> <p>ネット環境支援</p> <p>⇒1人1台パソコン端末の整備をしているが、直ちにオンライン学習を計画しないためネット環境による教育格差は生じないと考えている。万が一、学校が長期の臨時休業となり、オンライン学習を実施する場合、家庭にネット環境がない児童生徒については、学校に学習する場を確保し、校内のネットワーク環境の下で学習を行うことを考えている。</p> <p>以上、一般質問についての報告とさせていただきます。</p> <p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>河合議員から新型コロナの影響による不登校の質問がありましたが、7月末の時点では、昨年と比較し少なかったですが、再質問があり、8月末の時点では、昨年とほぼ同数となっている。と答弁をしました。</p> <p>次に、報告事項の2番、令和元年度教育費決算について、説明をお願いします。</p>
-------	--

<p>櫛田事務局長</p>	<p>(説明概要)</p> <p>令和元年度の教育委員会所管の教育費決算額は 41 億 8,001 万 8,666 円で、予算額に対する執行率は、88.0%でありました。私から、教育委員会事務局所管部分について説明をさせていただきます。まず、教育総務課では、小中学校の校舎等の施設及び設備の保全に努め、教育環境の整備を推進しました。小学校 10 校、中学校 9 校の机・椅子を更新したほか、教材備品や図書を整備を図りました。教育 I C T 環境整備事業としては、小学校の全普通教室と理科室に電子黒板と実物投影機を設置しました。また、国の G I G A スクール構想に基づく校内通信ネットワーク整備に係る予算を計上し、次年度に繰り越しました。そのほか、焼津東小・和田小の校舎内裝修繕、焼津東小の教室ロッカーの改修、公共施設保全計画実施プログラム推進事業として採択された小中学校の維持補修工事を行いました。さらに、猛暑災害対策事業として、小中学校の全普通教室・特別教室にエアコンを設置しました。学校教育課では、教員の指導力向上や児童生徒の学習支援を主な事業とする「教育センター事業」や、外国人の児童生徒が学校生活に適應できるよう支援する「外国人児童生徒等教育支援事業」、小学校 1 年生の学校生活の安定をねらいとして支援員を配置する「小学校低学年学校生活安定事業」、また、特別な支援を必要とする児童生徒のための「小・中学級支援員配置事業」などを行いました。学校給食課では、平成 27 年度から始めた「やいちゃんランチの日」を令和元年度も月に 1 回実施をし、平成 28 年度から始めた「給食センター保護者試食会」については令和 2 年 1 月に実施をし、2 日間で延べ 60 人の参加がありました。</p> <p>また、昭和 59 年 3 月に竣工し、老朽化が課題となっていた学校給食センターの再編方針を策定しました。社会教育課では、青少年の健全育成を図るための「青少年教育相談センター事業」を実施したほか、「成人式」を「はたちの集い」として焼津と大井川の両文化会館で開催しました。</p> <p>また、家庭教育の充実を図るため「家庭教育学級事業」や「家庭の教育力支援事業」などに取り組みました。更に、「生涯学習活動の推進事業」として、市内 9 箇所の公民館で、各種学級・講座の開設や、自主グループの育成と事業の振興に取り組みました。各事業の実施状況については 24、25 ページに記載のとおりです。文化財課では、貴重な文化遺産を後世に継承できるよう、文化財保護や歴史民俗資料館の運営などを中心に事業展開しました。「伝統的建造物群保存地区」である花沢地区においては、歴史的建造物「法華寺本堂」の修理と地区の歴史や文化を紹介する「ビジターセンター」の整備工事に着手しました。また、「花沢城跡」の活用を推進するため、遊歩道の整備や案内看板の設置などを行いました。歴史民俗資料館は、293 日開館し、来場者は 15,586 人でした。小泉八雲記念館は、296 日開館し、来場者は 15,630 人でした。記念館の運営では、資料展示</p>
---------------	--

	<p>を行った企画展示会や、各種講座をはじめ、講演会などを開催しました。次に、図書課では、焼津図書館が291日開館し、来館者数は185,128人、貸出数は485,329点。大井川図書館は291日開館し、来館者数は94,876人、貸出数は181,613点でした。本にふれあい、楽しむ機会をつくるための「お話し会」、来館のきっかけづくりとしての「各種講座」、図書館利用に支障のある方に対する「アシストサービス事業」、更には、令和元年度新規事業として、和田公民館において出前おはなし会（ぴよぴよこっこおはなし会）を実施しました。</p> <p>以上で教育委員会事務局所管部分の令和元年度教育費決算に関する説明を終わります。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>渡辺 子ども未来部長</p>	<p>(説明概要)</p> <p>続きまして、こども未来部所管の教育費決算状況についてご説明いたします。児童福祉事業は「民生費」になりますので省略させていただき、「教育費」の、「幼児教育事業」からご説明いたします。就学前言語障害児指導事業は、3か所の「幼児ことばの教室」において、言語に発達の遅れがみられる幼児に対する個別指導を行いました。元年度に指導した幼児は、延べ102人でした。次に、幼稚園事業は、幼稚園職員の給与及び光熱水費や設備修繕等の幼稚園管理、そして、大富幼稚園・東益津幼稚園・さつき幼稚園の普通教室及び多目的教室へエアコンを整備する幼稚園猛暑対策事業を行いました。</p> <p>以上で、こども未来部所管部分の令和元年度教育費決算に関する説明を終わります。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>羽田教育長</p>	<p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>次に、報告事項の3番、いじめ問題への対応、4番、最近の小中学校の状況について、説明をお願いします。</p>
<p>池田 学校教育課長</p>	<p>(説明概要)</p> <p>8月に新たに認知したいじめの件数は小学校が2件、中学校が4件でした。小中学校とも状況は、嫌なことを言われる、やられる、ということで、解消に向けて取り組んでいます。本年度認知しているいじめの重体事件は4件です。昨年度から継続している3件のうち、2人は適応指導教室に通級することができるようになっていました。また、その内1人はほぼ毎日通級することができるようになっており、適応指導教室の児童生徒と良好な人間関係を築くことができています。また、もう1人も頑張っていて通級しようとする意志が見れるようになってきました。残りの1人は、学校が定期</p>

的に連絡し登校を促していますが、登校には至っておりません。また、先月認知した重大事件については、被害生徒、加害生徒、ともに毎日登校しています。学校職員が2人が接触しないように配慮しているため、その後トラブルはありません。加害生徒が学校からの連絡や、警察からの連絡に応じないため、解決には至っていません。警察は加害生徒を児童相談所に通告したため、今後、児童相談所の指導が行われることとなります。

続いて、最近の小中学校の状況について報告いたします。

8月の生徒指導関係について、不登校は小学生33人、中学生91人でありました。本年度、夏季休業期間は短縮となり、8月に実施した授業日について、小学校が11日、中学校が13日程度あった。本年度についてはこれまで、不登校児童生徒数は昨年度と比べ、やや減少傾向にあっりましたが、8月末には、昨年度とほぼ同数となりました。本年度の先月末と比較すると、小学校で9人の増、中学校で11人の増でありました。8月末日までの授業日数が昨年度より、小学校で15日程度、中学校で4日程度短い状況を見ると、小学校での不登校児童数は昨年度を上回っている状況であります。問題行動は小学校4件中学校9件でありました。小学校の内容は、金銭乱費、器物破損、対人暴力等でありました。中学校の特徴としては、9件の全てが1年生であり、内容は生徒間暴力、対教師暴力・暴言、長期休業中に染髪した事案でありました。また、9件の内6件が特定の学校でありました。先月報告した避難タワーから飛び降り、自死を図った2年女子生徒はその後、外科的な治療を終えたますが、医師や児童相談所の判断により、県立子ども病院の心の診療科に入院しています。交通事故は小学生1件、中学生2件でした。小学生の内容は、1件が自転車乗車中の車との接触で、もう1件が飛び出しの際の車との接触でありました。中学生の内容は、自転車乗車中の車との接触でありました。今後も引き続き、指導を続けてまいります。不審者は4件でした。これまでほとんど報告がなかったが、8月は4件の報告を受けました。内容は、スマートフォンで撮影された事案が3件、車につけられた事案が1件でありました。

次に、児童・生徒数調べです。小学校は、令和3年度は、通常学級児童数は6,892人、通常学級は231学級。特別支援児童数は136人、特別支援学級は24学級。中学校は通常学級児童数は3,432人、通常学級は111学級。特別支援児童数は93人、特別支援学級は15学級と見込まれています。

修学旅行については、小学校は多くの学校が行き先を関東方面から山梨・三重・県内に変更し、11月中旬から12月中旬の約1か月間に1泊2日で計画しています。中学校は多くの学校が行き先を奈良・京都から山梨・県内に変更し、9月下旬から12月上旬にかけて日帰りで計画しています。

以上となります。

羽田教育長	説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。
大石委員	修学旅行について、小学校が1泊2日、中学校が日帰りですが、理由はあるのか。
池田 学校教育課長	調査をしていないので、はっきりとは分からないが、経験上、中学生の泊を伴う場合、計画に時間がかかること、授業時数の関係、受験体制への配慮が考えられます。
大石委員	ありがとうございます。
羽田教育長	校長先生に聞いたら、受験があるため、次期をそれほど遅らせることができないと言ってました。それから、変更にもなう企画料を保護者に2度負担してもらうことはできないということも理由の一つという話でした。
見崎 社会教育課長	その他、御意見・御質問、ありますか。よろしいでしょうか。 それでは、次にその他に移ります。その他の1番、令和2年度公民館まつりの日程について、説明をお願いします。
羽田教育長	<p>(説明概要)</p> <p>今年の公民館祭りについて、集客イベントはコロナ感染症対策のため中止とし、規模縮小での開催となりますことを報告します。今年は少し寂しい公民館祭りとなりますが、よろしければ足を運んでください。</p> <p>説明が終わりました。御意見・御質問のある委員は、発言をお願いします。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上で本日の議事は、すべて終了いたしました。全体を通しまして、何かありましたらお願いします。</p> <p>それでは、次回の開催予定であります。</p> <p>次回は、10月20日(火)午後3時30分から、ここ、第3委員会室で行います。</p> <p>以上をもちまして、9月定例教育委員会を閉会いたします。皆様、お疲れ様でした。</p> <p>よろしいですか。</p> <p style="text-align: right;">【午後4時11分閉会】</p>

